

高知県商工団体連合会 NO.1150(57-2)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosityoren.jp>

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

参院選勝利で消費税減税・インボイス廃止を！

消費税減税とインボイス制度廃止を求める意見書

土佐町、奈半利町、本山町、四万十町、佐川町で可決

(高知新聞報道、議員からの情報、議会からの通知により)

高商連(民商県連)や消費税をなくす会、地元住民等の連名で県下全議会に陳情していました。

インボイス制度実施後では初の意見書採択です。

四万十町議会(緒方正綱議長)からの「陳情の審査結果について(通知)」

* 審査結果 採択(可決)

* 経過 インボイス制度について、また、インボイス制度開始後の四万十町でどのような影響があったかについて税務課より説明を受けた後、令和4年9月定例会において全会一致で可決した「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」について共有。その後、各議員から意見が出され、全会一致で可決となった。

* 委員の意見 ・物価高騰により町民生活も厳しい状況である。

・国会でも消費税減税について党派を超えて議論が進んでおり、減税した後の財源確保についても、応能負担の原則や無駄使いの削減で財源を生み出すこと等が明記されている。

・四万十町は中小小規模事業者が多いため、小さな業者を支えていくという視点からインボイス制度廃止を反対する理由はない。

* 補足事項 6月10日に意見書提出を求める発委。賛成多数で可決した。

消費税減税は参議院選挙の一大争点の一つです。ほとんどの野党、自民党の一部議員も減税を言いだしています。選挙結果によっては、減税が実現できる状況です。減税の内容については違いもあります。中には、「食料品ゼロ」というものもあります。食料品ゼロは生活応援の一つの方法ではありますが、①一律5%への減税に比べ減税総額が少ない。②外食は10%なので、食料品や食材を買って自宅での食事が増え喫茶店、レストランなどの外食店の売上が減る可能性がある。③10%、8%、0%と税率区分が増え、記帳と申告

実務がいつそう煩雑になる。などの問題点があります。記帳については今でも、○10%インボイスあり・なし、○8%インボイスあり・なし、○1万円未満特例等の区分記帳が必要です。これにさらに0%が増えます。○税率が3段階になれば、インボイス廃止はますます困難になります。申告については、簡易課税の場合、食料品の販売や卸しがある業者は、売上を10%、8%、0%の3つに区分して集計しないといけません。こうした問題点も伝え、「一律5%への減税、消費税廃止」の世論を大きくしていきましょう。

広田一さんを励ます会



6月15日(日)、「広田一を励ます会」(広田一後援会主催)がザクラウンパレス新阪急高知(高知市)で開催されました。

会場いっぱいの600人の参加者。東谷高商連会長、入江事務局長はじめ民商会員・関係者も多数参加していました。

広田氏は、「今回の参議院選挙は、今の与野党伯仲状態の中で起きている新しい流れを確かなものにしていくのかもとの自民党一強独占に戻ってしまっていて、政治を後退させるのか、前進か後退かが問われる選挙です。そして、ガソリン税減税、消費税減税といった減税路線を進めていくのか、それとも自民党の防衛増税1兆円か、増税か減税かが問われる選挙でもあります。新しい流れ、新しい変化、くらしに寄り添ったまっとうな社会をつくるために、よろしくお祈りします」と語りました。

広田一さん

(無所属・選挙区候補)

白川よう子さん

(共産・比例候補)

と共に消費税減税、インボイス廃止をめざします。



6月16日(月)、参議院選挙四国ブロック比例へ共産党からの立候補を表明した大岸まゆみさん(元香美市議、商工新聞読者)が、高商連事務局を表敬訪問。東谷会長、入江事務局長と懇談。「物価高対策としても、中小事業者の営業を守るためにも、消費税減税は待ったなしです。広田一さん、白川よう子さんの勝利を勝ち取り、自民党政治を終わらせ、消費税減税、インボイス制度廃止を実現しましょう」と語り合いました。

事務局を表敬訪問
参院選比例予定候補・大岸まゆみさん